

長沼町総合振興計画審議会 福祉部会（第1回）議事概要

開催日時：平成28年1月18日（月）9:30～10:30

開催場所：長沼町役場 3階 議会委員会室

【出席者】

＜審議会委員＞5名

高瀬部会長、十河委員、細川委員、松村委員、安田委員

＜長沼町役場＞7名

保健福祉課～奥原補佐、三浦補佐、中野補佐

町立病院～山本事務局長

税務住民課～高田補佐

総務政策課～栗野補佐、和田主任

【会議録】

1 開会

高瀬部会長

進行は不慣れでご迷惑をお掛けするかもしれませんが、どうぞよろしくお願ひ致します。

2 議事（高瀬部会長が議長となり進行）

（第2章）

高瀬部会長

交通安全の関係で高齢者の車の運転が非常に危なく感じています。これから高齢者がさらに増えてくると思うので心配です。

栗野補佐

計画の中でも交通安全の教育ということで、特に豊生大学を活用して交通安全教室を開催するというのでうたっています。

安田委員

ペット条例を新しく制定するというので記載されていますが、ペットにもいろいろな種類があります。条例の中身についてはこれから検討するというのでしょうか。

高田補佐

近いうちに作成して議会の承認を得るという流れになるかと思いますが、具体的な中身については検討中です。

高瀬部会長

消防職員について、消防力の整備指針には27名と記載がありますが、現状では21名と指針に達していません。人数が少ないように感じるがその影響はありませんか。

栗野補佐

正職員の他に退職職員を再雇用したり、嘱託職員を雇うなどしてなんとか対応しているという状況です。

(第3章)

高瀬部会長

地域でごみ拾いを行うことがあるが、毎回同じところにごみが捨てられています。排水路や防風林のあたりが多いと感じます。

安田委員

住民の住んでいる所はきれいだが、住民が管理していない所が狙われていると思います。

栗野補佐

町の方としても注意喚起を取り組んでいかなければならないと考えています。町民の方がきれいにしても、町外から捨てに来るといったケースもあるようです。発見した場合は早急に対応していかなければならないと考えています。

(第4章)

安田委員

町立病院の関係で特に取り組みたいということがあれば伺いたいのですが。

山本事務局長

町立病院は経営の状況が悪く赤字が続いています。しかし、診療科目もいっぺんになくすということもできなく、救急医療体制という部分でも来るか来ないかわからない患者さんのために夜間も医師や看護師を待機させなければならぬということもあり、不採算ではありますが単純に経営改善だけを考えていく訳にもいかないということで、非常に悩ましい部分ではございます。いずれにしても町民の生活を守るということで、貴重な医療機関としては、今後も住民のみなさんの安心を支えるべく、充実していかなければならないとは思いますが、赤字を何とかしながらという兼ね合いも考えながら検討していかなければならないと考えています。町立病院もかなり老朽化が進んでいます。電子カルテやオーダリングシステムは非常に効率化が図れるものではあります。ただこれを導入するには億単位の投資が必要となります。病院の改築等のタイミングに合わせないとなかなか難しいかと思っています。現状老朽化が進んでいるというのは事実ですが、整備するこ

とと同時に経営改善も併せてやっていかなければならないと考えています。ITを利用した遠隔医療につきましては、一部ではすでに行っていますが、それをより広げていければ高度な医療に結びつくと考えています。

松村委員

介護施設ができたからといって、最終的に病気になれば病院に移ることになると思いますし、一般病床を減らすということはあまり良くないと思います。いざという時に町内の病院に入れないとなると町民も困ると思います。高齢者が増えて介護施設が必要になるという反面、病院にはある程度の病床数は確保しておいてほしいです。

細川委員

整形外科ですが、以前は専任の先生がいらっしゃったかと思いますが、現在は出張医となり休診日も増えているかと思いますが。整形外科はなくなってしまうのか等、今後の方針について教えて下さい。

山本事務局長

整形外科のドクターが体調を崩されて休職を余儀なくされている状況です。やむなく先生を派遣していただいて外来をキープしている状況です。ドクターの動向により対応していきたいと考えています。

松村委員

介護型老人保健施設の定員数増と移転改築とありますが、具体的に話が進んでいるのでしょうか。

山本事務局長

事務レベルではありますが、施設整備の構想を作成しています。80床くらいが望ましいのではないかと構想の中で検討しています。現在65床ですので、プラス15となります。

十河委員

現在の保育園の入園率はどれくらいですか。

奥原補佐

全体としては、入園児数はほぼ定員に近い状況です。

高瀬部会長

児童館の整備とありますが、話は進んでいるのでしょうか。

栗野補佐

児童館自体は教育委員会の方で教育部会でも話はされているかと思いますが、公共施設の管理計画の中でも検討を進めているという状況です。

松村委員

認知症初期集中支援チームの設置とありますが、これは大変良いことで期待をしていますが、どのような人が対象となるのでしょうか。医学的に判定されている人だけが対象なのでしょうか。

三浦補佐

医学的に判定されている方も中にはいらっしゃいますが、されていない方でもちょっと心配だなと相談があった方に対して医者、看護師、社会福祉士等で指導を行っています。

松村委員

ジェネリック医薬品の件ですが、なかなか自分からは言いづらいと思います。医師の方から勧めてもらえるよう指導はできませんか。

山本事務局長

ジェネリックにつきましては患者さんのご希望に沿う形にしていますが、医師の方も患者さんの状況をみながら、効能の問題もありますので、すべてジェネリックということもできないのかと思っています。

十河委員

国民健康保険の都道府県化とありますが、こうなると保険料が安くなるのか試算されているのかと思いますがどうでしょうか。

高田補佐

後期高齢者医療保険については道内一律の保険料ですが、国民健康保険については北海道が提示する何パターンかある率を選ぶということになるとのことですが、まだ素案ができていないのでこの場では答えられません。

細川委員

国民年金への加入促進とありますが、昔は当然のようにみんな加入していたかと思いますが、そうではないのでしょうか。

高田補佐

実際は加入していない方もいます。加入していなければ年金はもらえないので、原則は加入することになっていますが、罰則がないため払わないという方もいます。

安田委員

長沼町の活性化と定住化のために、子育て支援というのが大きなテーマでもあるし、取り組んでいかなければならないことです。長沼町は積極的な取り組みもしていると思います。そういった取り組みをPR・アピールし、長沼町はすばらしいなというようなイメージを持っていただきたいと思います。さらにそこに力を注いで「長沼町子ども子育て支援宣言のまち」と言えるような体制を作ることを目指してほしいと思います。

(第7章)

意見なし。